平和と人権」市民ネットワーク情報　N019-9

事務局発行(℡ 0557-45-1182)　http://peaceito.moo.jp　2019.9/19

11/9(土)　「沖縄スパイ戦史」上映

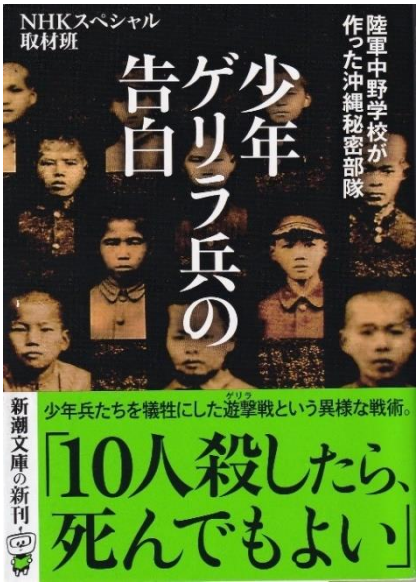
◆三上智恵・大矢英代の共同監督作品「沖縄スパイ戦史」を 11 月９日(土)伊東で上映します。「戦場ぬ止み」を皮切りにこれまで三上智恵監督の映画を３本上映してきました。取材対象は違っても、どの作品でも監督の視線は基地建設をめぐる沖縄の人たちの怒りと抗議に注がれていました。今回上映する「沖縄スパイ戦史」は、沖縄戦を別の角度から映像化したものです。戦いの舞台は本島北部のヤンバルの森。動員されたのは 14 歳～17 歳の少年たち。陸軍中野学校を経て沖縄に派遣された諜報員が子どもたちを「護郷隊」に組織し、ゲリラ兵として訓練したのちアメリカ軍と戦わせたのです。米軍のキャンプを襲い、故郷の村々に火をつけ…。その数およそ１０００名、死者は１６２人。生存者の一人は言います、「二度と戦争だけには行きたくない。戦争に近づくような道を、戦争からかけ離れた選択肢であっても、選択しないようにしないと。小さなのを重ねていくとね、ひどい目に遭いますから」

三上さんと大矢さんが「沖縄スパイ戦史」を描いたのは、沖縄戦の凄惨な体験が、今軍事基地建設に反対する人たちに遺伝子として組み込まれている、と考えたからではないでしょうか。過去を描きながら同時に現在を問う作品ではないかと思います。上映要領は以下の通りです。

・日　時…１１月９日(土)
　　13:30～沖縄青壮年派遣の報告
　　14:00～映画上映
・会　場…「ひぐらし会館」３階ホール
　　(伊東市桜木町 1-1-17)
・チケット…５００円/枚　(高校生以下無料)
　販売店：文泉堂書店(☎ 37-2970)
　　岩上書店(☎　53-0051)
・主催…「沖縄スパイ戦史」上映実行委員会
　問合せ…市民アクション事務局(☎37-9134)

※同封(添付)の案内をご覧ください。

◆2015 年８月に NHK で「あの日、ぼくらは戦場で～少年兵の告白～」という番組が放映されました。取材記録が「少年ゲリラ兵の告白」と題して書籍化され新潮文庫に入っています。「沖縄スパイ戦史」を文字資料で補強しています。文泉堂さんに備えてあります。興味のある方はお買い求めください。



♪♪東京、夢の島から平和行進♪♪

小林和江

第五福竜丸のある夢の島から大阪まで60日。雨の日も暑い日も、大きな声で“核兵器要らない”と。2017年7月7日に核兵器は“最悪”の兵器と言われ、国連で２５カ国が要らない!と声を上げているのに、この私たちが住んでいる国で、原爆を使われた国で……。大きな声を出さずにはいられません。全国通し行進者として参加しました。

東京の行進は土、日だったので、子どもたちが一緒に声を出して♪核兵器いらない、子どもを守って‼と、ラップ調のリズムに乗って気持ちよく歩けました。毎日、３万歩前後を歩きます。東京から神奈川に引き継ぐ時に歩いた歩数は３万5000歩でした。

東京の行進は生まれ育った京浜工業地帯(昔)を歩きながら、なつかしさ一杯でした。ラップ調のリズムは全国に飛び火してほしいです。神奈川は毎日被爆者が先頭を歩きます。そして話をします。車椅子で娘さんに押してもらって参加した老人は「二度と私たちのような人を作ってはいけない」と涙を流して話されました。参加される行進者の方もいろいろ考えて、コスチューム、飾りタペストリー等、素晴らしいです。コンテストがあり、賞が与えられたりします。第一は「核兵器は要らない」とみんなにどれだけアピールしたかです。

日本の知らない街を行進するということは楽しいです。本当に平和行進は楽しいです。なぜなら、堂々と声を張り上げて“核兵器を無くしましょう‼と言えることです。

雨が降っても平和行進♪♪
核兵器無くそう平和行進♪♪
歩いて歩いて平和行進♪♪

是非皆さん、ニューヨークに向かって署名を集めて参加しましょう。5月１９日から静岡の平和行進が始まる日です。カレンダーに印をつけて、来年こそ元気に歩いてください。お願いします‼

【私信】(同封のお手紙から抜粋)

お話しする機会がありましたら、まだまだ書き足りないのでお話ししたいです。伊東から、リレーではなく県内通し行進者を出してください。

小林和江さんの紹介

老後は温暖な地で、と伊豆に移住したのに、平和委員会の一員として「伊東市」の平和運動の礎を築き、2010年NPT再検討会議のニューヨーク行動に参加、毎年行われる「平和行進」は通し行進者として、全国各地から「広島」への通し行進を続けるなど、住いを清水に移しても、持ち前の行動力で、平和運動に全力で邁進中です。(伊藤泰子)

寄稿　改憲の動きと 3000 万署名　三好康昭

(1)参議院議員選挙後の状況

参議院選挙の結果、与党の自民党・公明党に「日本維新の会」を加えたいわゆる改憲派の議席数は総議席の 2/3 に達しなかった。 数字だけ見れば、当面憲法改正の国会発議は阻止できる。が、これをもって改憲の動きに歯止めがかかったとみることはできない。なぜか。　（↓9/12 朝日）

①安倍首相の妄執ともいえるほどの改憲へのこだわり。

②衆議院はもちろん、参議院でも改憲派が圧倒的多数を占めている状況(160/245)に変わりがない。

③国会発議を阻んでいるもう一つの要素は各院の憲法審査会の議事手続きである。慣例的に与野党の合意を基に審査会の議事が進められてきた。そのため、改憲派が衆参で 2/3 の議席を持ちながらこれまで改正案の提示すら行われなかった。自民党、とりわけ安倍周辺から、維新と国民民主の同意を得て強引に審査会を動かそうとする動きが強まっている。

④憲法改正に向けた強硬路線の歯止めになっているのは公明党である。公明党は与野党合意路線を守ろうとしている。しかし、国民民主が審議に応じれば、たとえ立憲が反対しても、公明党は審査会の審議に入り、その後の改正案の提示にも抵抗しないと思われる。

(2)一般世論

改憲派政党を支持する有権者が多数であるとはいえ、改憲、とりわけ 9 条改正を支持する人が国民の多数派であるとは言えない。公明党支持者はもとより、自民党支持者のなかにも 9 条改正に反対する人が一定の割合で存在する。今、この時点で国民投票をやれば、反対派が勝利するのではないか。が、いざ本当に国民投票になった時点ではどうか。逆の結果になるおそれが十分ある。その時点では公明党は改憲に賛成しているわけだから、公明支持者は改憲賛成にまわるだろう。なにより、改憲派の圧倒的な宣伝力によって、選挙では棄権する人も国民投票では改憲に賛成票を投じる可能性が高い。だとしたら、なおさら今この時点から、棄権者をも念頭に、9 条の意義と価値を対話しながら広めていくことが必要だろう。

(3)わたしたちの活動

なによりも国会での憲法改正発議を阻止すること。そのために、衆議院で改憲派を 2/3 割れに追い込むことが緊要だ。中央で立憲野党の共闘と候補者の一本化をすすめる。地方では市民との共闘に本腰を入れて取り組むこと。市民が政党の選挙運動を積極的に支持・サポートするような動きを作っていくことが大事だ。

第二に、国民投票を視野に、潜在的な改憲反対者を顕在的な反対者にする運動をすすめること。自民党・公明党支持者や選挙で棄権する人たちを含めて。その手段は対話と署名である。9 条を守ること、平和の条件を取り戻すこと(日米同盟強化・軍事力増強路線の否定)を訴えたい。**3000 万署名**を継続する意義と必要性はここにある。

第三に、反対運動に取り組む拠点づくりをすすめる。学習と行動を両輪とする地域サークルづくりに力をいれる。

(4)まとめ－継続は力－

署名集めには時間と根気が必要である。が、志さえあれば誰にでもできる。近所から、身内から始めよう。個人の自発的な活動と、地域単位・組織単位での共同署名を両輪として 3000 万署名を推進していきたい。　(以上)

安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.19
2019.9.19

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション
署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

9 の日行動一覧　参加者総数 49 人(6 人/回)、署名数計 307 筆(38 筆/回)

	地域(集合場所)	参加者(人)	署名数(筆)		地域(集合場所)	参加者(人)	署名数(筆)
2018.11.4	鎌田ナガヤ店	6	48	2019. 4.9	宇佐美コミセン	8	54
12.9	鎌田ナガヤ店	4	28	5.9	観光会館	7	46
2019. 1.9	福祉センター	8	34	6.9	観光会館	7	51
2.9	福祉センター	4	11	7.9	参議院選、中止		＼
3.9	宇佐美コミセン	5	35	8.9	猛暑、中止		＼

〈9 月 9 日の地域共同署名の報告－事務局宛のメールより－〉

「台風一過の猛暑のなか、みなさん署名集めに来るだろうか、市議選も間近だし…。が、「通信」に予告した手前、顔を出さないわけにも行かない」…半ば義務的な感じで、2 時少し前、集合場所の重岡事務所の戸を開けました。時間になっても人は来ない。「暑い中無理をすることもないかな、でも 7 月と 8 月の「9 の日行動」も取りやめたし…」。とつおいつの末、「一人でも行ってこよう！」 と腰を上げました。Honda 荻店から入った住宅地を戸別訪問。「署名?そういうのはやらないから」インターホーン越しに冷たい声。外は猛烈な日差し。諦めずに歩く。70 代とおぼしき夫婦が署名してくれる。民商の人も。45 分ほど歩いて 6 筆を得ました。共同署名ならぬ単独署名でしたが、「9 の日行動」を開店休業にしなくて良かったです。私にとっては 6 月 9 日以来の久しぶりの署名活動でしたが、今日をきっかけにまた再開しようかな、と思い立ったことでした。　三好康昭

☞10 月の「9 の日行動」=地域共同署名→１０/９(水)１４:００重岡事務所集合

お　し　ら　せ

◆先月号で、読者の皆さんに伊東市新議会に宛て、要望・意見を募りました。期日の 9 月 15 日までに、読者からの応募がありませんでした。よって、本誌への掲載と議会事務局への提出もありません。新議会への期待や要望がないわけではないと思います。200 字程度の意見を改めて書くことにそれほど意味があるとは思えない、ということでしょうか。アンケート形式にするとか、ひな形を用意するとか、募集の方法を工夫する必要があったかもしれません。いずれにしても、企画倒れに終わったことをお詫びいたします。